



2025年5月8日

各位

会社名 セーラー広告株式会社
代表者 代表取締役社長 香川 裕史
(コード 2156 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員総務局長 西分 太郎
(電話 087-825-1156)

法人税等調整額の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年3月期第4四半期連結会計期間（2025年1月1日～2025年3月31日）におきまして、法人税等調整額を計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、2024年7月24日に公表いたしました2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）の通期連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 法人税等調整額の計上

当社は、現時点での将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、2025年3月期第4四半期連結会計期間（2025年1月1日～2025年3月31日）に法人税等調整額（損）29百万円を計上する見込みとなりました。これにより、2025年3月期連結累計期間（2024年4月1日～2025年3月31日）における法人税等調整額（損）は1百万円となる見込みであります。

2. 2025年3月期 通期連結業績予想の修正

①業績予想の修正内容

	総売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)
前回予想 (A)	7,900	200	220	—
今回予想 (B)	7,968	9	84	27
増減額 (B-A)	68	△191	△136	—
増減率 (%)	0.9	△95.5	△61.8	—
(ご参考) 前期実績 (C) (2024年3月期)	7,625	37	62	△74
増減額 (B-C)	343	△28	22	101
増減率 (%)	4.5	△74.3	35.1	—

②業績予想の修正理由

当社グループにおきましては、お客さまの経営課題の解決に繋がる戦略を設計し、共に実践するパートナーになることを『マーケティングデザイン』と称し、この基本概念のもとデジタル領域の拡大と新しい事業領域の開発に取り組んでまいりました。デジタル領域の拡大につきましては、リスティング広告やアフィリエイト広告、SEO対策などのほかTVerやYouTube、Instagramなどの利用者に向けた広告の受注もあってインターネット広告が順調に増加したほか、地元企業のWebプロモーションやWebサイトの構築、アプリの制作なども受注いたしました。また、新しい事業領域への取り組みとして運営している『徳島・香川トモニ市場～ふるさと物産館～』につきましても、安定した売上を確保いたしました。そのほか、人流活発化やインバウンドを背景に、展示会・集客イベント・屋外広告を受注したほか、昨年10月の衆議院選挙関連やオフィスの改装工事なども受注いたしました。また、「サイクリングしまなみ 2024」の開催もあって、当社グループの総売上高は、7,968百万円（前期比104.5%）となる見込みです。

収益面につきましては、提案活動の活発化に伴う営業活動費用と営業力・提案力強化を目的とした社内 DX 推進費用に加え、賃上げによる人件費の増加と譲渡制限付株式報酬の導入に伴う株式報酬費用のほか、新しい事業への挑戦として『共同・協業販路開拓支援補助事業』へ取り組んだ事業経費の計上があり、販売費及び一般管理費が前年を上回る見込みであり、営業利益は 9 百万円（前期比 25.7%）となる見込みです。ただし、営業外収益において、『共同・協業販路開拓支援補助事業』等に関する助成金収入が 53 百万円あり、経常利益は 84 百万円（前期比 135.1%）、親会社株主に帰属する当期純利益は 27 百万円（前期は 74 百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となる見込みです。

※上記に記載されている業績見通し等の将来に関する記述におきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上